

ディボーション質問表



今週のエゼキエル書の箇所は、エルサレム滅亡の預言（4～24章）の部分です。

13日（月）エゼキエル書 19：1～14節 指導者への哀歌

1. 歴史的には、2節の子獅子はエホアハズ（3節）とエホヤキン（5節）と思われます。彼らはそれぞれエジプトとバビロンに捕囚されました。— 国家の指導者が他国へ拉致されるという事は国家的には最高の屈辱です。神がユダ王国をこのような目に遭わせたのはなぜだと思いますか。
2. 指導者に次いで、今度は全国民的な拉致が始まります。これらは2列王記24：20節のゼデキヤに関する預言の成就です。今の自分たちの生活が世代を超えて影響をもたらす事をどう考えますか。あなたは今日、どんな心構えで、どんな行動をしますか。

14日（火）エゼキエル書 20：1～26節 過去のさばきに基づく警告1

1. この章の背景が一節に書かれています。第七年とは、エホヤキン王がバビロンに連れ去られてから七年目（BC590年）のことです。この箇所には、「主である」（5、7、12、19、20、26節）、「わたしの名を汚そうとはしなかった」（9、14、22節）、「わたしの名のために」（9、14、22節）、「それを実行すれば生きる」（11、13、21節）などという特徴的な言葉が多く出て来ます。それらを意識しながら読んでみましょう。
2. この箇所はイスラエルの不信仰に関するメッセージです。エジプトで奴隷だった時も、エジプトを出てからの旅の間も、カナンへの地に入ってから彼らの不信仰は神の怒りを買いつつ続けました。同じような不信仰は現代のクリスチャンのどんなところに見られますか。自分を吟味しつつ、思い返してみましよう。

15日（水）エゼキエル書 20：27～44節 過去のさばきに基づく警告2

1. この箇所には、「わたしが主であることを知ろう」（38、42、44節）、「神である主」（3、5、27、30、31、33、36、39、40、44、47節）などという特徴的な言葉が多く出て来ます。それらを意識しながら読んでみましょう。
2. イスラエルの回復を神はここで預言しています。彼らの心にどんな変化がおきていますか。人が神に従っている状態というのは、どういうものだと思いますか？
3. 終末にイスラエルが国家として回復するという預言とバビロン捕囚からの帰還預言が重なって記されていますが、この箇所からあなたは神が与えるどんな希望を見出す事が出来ますか？

16日（木）エゼキエル書 20：45～49節 火によるさばき

1. 南とはパレスチナ地方全体のことで、この預言から神の裁きのどんな性質を見ることが出来ますか。
2. 49節にエレミヤへの悪口が出てきます。神を知らない人のどんな性質が分かりますか。自分も同じことをしていたら悔い改めましよう。

17日（金）エゼキエル書 21：1～17節 剣によるさばき1

1. 21章は、主の剣（1～7節）、「剣の歌」と呼ばれる歌（8～17節）、バビロンの王の剣（18～27節）、28～32節は、21～22節でラバへの道が選ばれなかったことへの答に分類する事が出来ます。
2. エルサレムへの神の裁きは徹底的なものでした。それはある意味、ソドムとゴモラの裁きを越えるほどです。なぜ彼らはこれほど過酷な裁きに遭ったのでしょうか。

18日（土）エゼキエル書 21：18～32節 剣によるさばき2

1. イスラエルと共に「バビロンによる裁き」の道備えがなされたアモン人は完全にほろぼされ、回復の預言もなく、歴史から消えていきました（32節）。神による回復の恵みである福音をもう一度覚え、その回復の恵みを隣人や友人に適用ましよう。
2. 神の手の中にある世界の情勢をもう一度覚え、とりなす時を持ちましよう。

***今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**